

外部へ支出した研究費及び外部から受け入れた研究費における「海外」区分の変更について

1 課題の内容

外部へ支出した研究費における「海外」の区分について、国際比較可能性を向上させるため、フランスカティ・マニュアル（以下「FM」という。）の分類との対応を図る必要があるといった要望がなされている。

現行の調査の分類とFMの分類の対応は以下のとおり。

現行調査の分類		FMの分類
会社	⇔	企業部門
大学	⇔	高等教育部門
その他	⇔	政府部門
		民間非営利部門
		国際組織

2 検討の方向性

現在の外部へ支出した研究費における「海外」区分は「会社」「大学」「その他」の3区分であり、この区分に「政府」「民間非営利団体」を追加する方向で検討する。

なお、外部へ支出した研究費における「海外」区分を変更するにあたって、研究費の流れを把握する観点から、外部から受け入れた研究費における「海外」区分も同様に変更する。

【「海外」の区分変更案】

調査票甲（企業）

		支出額	
		うち自己資金から支出した研究費	
海外	会社	円	円
	うち親子会社	円	円
	大学	円	円
	政府	円	円
	民間非営利団体	円	円
	その他	円	円

		受入額	
		うち社内で使用した研究費	
海外	会社	円	円
	うち親子会社	円	円
	大学	円	円
	政府	円	円
	民間非営利団体	円	円
	その他	円	円

調査票乙（非営利団体・公的機関）及び調査票丙（大学等）

		支出額	
		うち自己資金から支出した研究費	
海外	会社	円	円
	大学	円	円
	政府	円	円
	民間非営利団体	円	円
	その他	円	円

		受入額	
		うち社内で使用した研究費	
海外	会社	円	円
	大学	円	円
	政府	円	円
	民間非営利団体	円	円
	その他	円	円

3 ヒアリング

区分の変更にあって、実際に「海外」の「その他」区分へ研究費の支出」もしくは「海外」の「その他」区分から研究費の受け入れ」のある客体に対して区分変更後の調査票への記入可能性についてヒアリングを行う。

なお、令和元年調査結果における「海外」の「その他」区分へ研究費の支出」もしくは「海外」の「その他」区分から研究費の受け入れ」があった組織体数は、それぞれ支出が131、受け入れが180となっている。

「海外」の「その他」区分へ研究費を支出した組織体数及び
「海外」の「その他」区分から研究費を受け入れた組織体数

	海外・その他	
	支出	受入
合計	131	180
企業	106	9
非営利団体・公的機関	19	30
大学等	6	141

※出典 令和元年科学技術研究調査 分析表第5表

ヒアリング内容

問1 外部へ支出した研究費及び外部から受け入れた研究費について、国際比較可能性を向上させるため、「海外」の区分について、以下のとおり区分の変更を考えています。

現在「その他」の区分に記入していただいている金額を「政府」「民間非営利団体」「その他」に分けて記入していただくこととなります。区分変更後の「その他」には国際機関などが含まれます。

つきましては、下記に示したとおり区分を変更した場合、変更した区分への回答が可能かお聞かせください。(回答を○で囲んで下さい。)

【現在の「海外」の区分】

		支出額	
		うち自己資金から支出した研究費	
海外	会社	円	円
	うち親子会社	円	円
	大学	円	円
	その他	円	円

		受入額	
		うち社内で使用した研究費	
海外	会社	円	円
	うち親子会社	円	円
	大学	円	円
	その他	円	円

【「海外」の区分変更案】

		支出額	
		うち自己資金から支出した研究費	
海外	会社	円	円
	うち親子会社	円	円
	大学	円	円
	政府	円	円
	民間非営利団体	円	円
	その他	円	円

		受入額	
		うち社内で使用した研究費	
海外	会社	円	円
	うち親子会社	円	円
	大学	円	円
	政府	円	円
	民間非営利団体	円	円
	その他	円	円

【回答】

1：区分を変更した調査票への回答は可能 ⇒ 問2へ

2：区分を変更した調査票への回答は難しい ⇒ 更問へ

更問 「2：区分を変更した調査票への回答は難しい回答が難しい」とした理由をお聞かせください。

【回答】

1：「政府」の区分が出来ない ⇒ 問2へ

2：「民間非営利団体」の区分が出来ない ⇒ 問2へ

3：その他 ⇒ 以下に理由をお聞かせください。

【理由】

問2 「海外」の「その他」区分への研究費の支出又は「その他」区分からの研究費の受入に関して、差し支えがなければ主な取引相手の名称又は属性（政府、民間非営利団体、個人、国際機関など）をお聞かせください。

【回答】